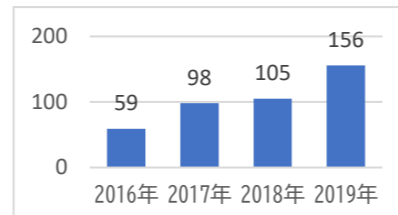


1 背景・趣旨

- ひきこもりの人の数は年々増加している。
- ひきこもりの原因としては、疾病が最も多く、次いで不登校や職場関係などの人間関係によるものが原因となっている。
- ひきこもりの人の社会とのつながりのきっかけとして、居場所の創出や参加の機会の提供を検討する。

① ひきこもり面接相談件数の増加



春日井保健所実績（春日井市、小牧市）

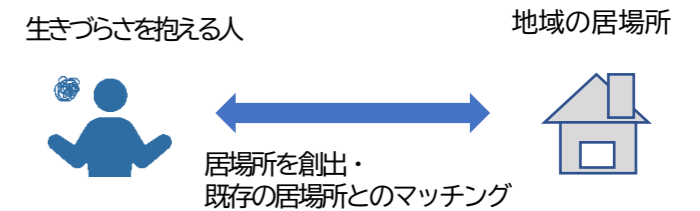
② ひきこもりの原因はさまざま

ひきこもりになったきっかけ

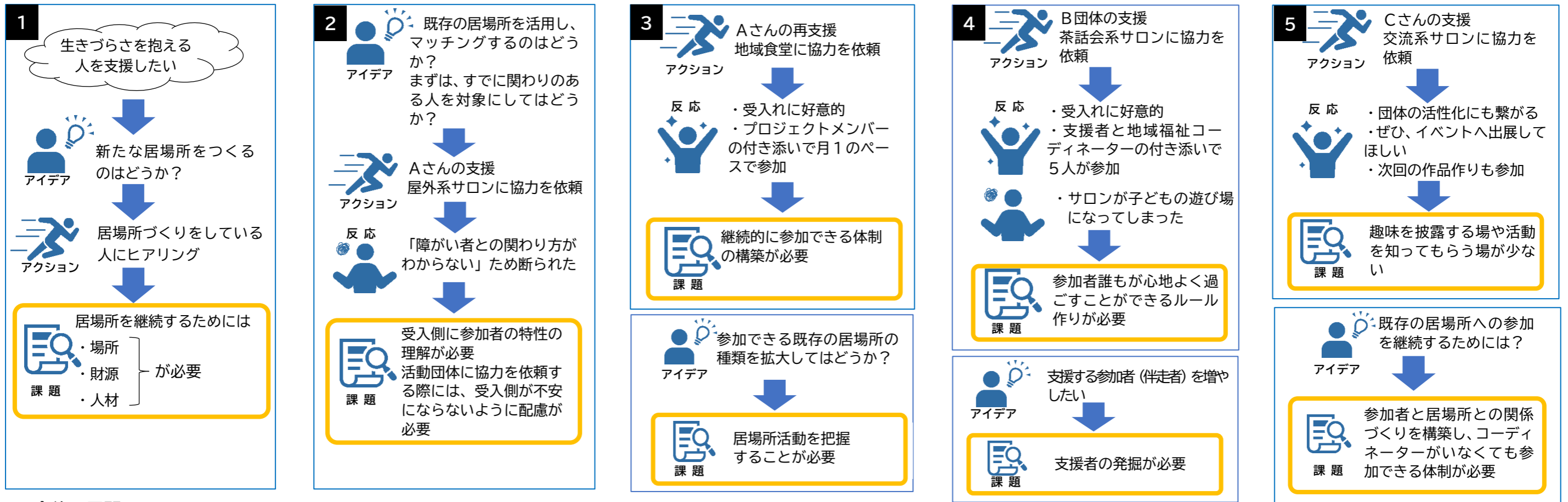
理由	割合
疾病（精神）	28.2%
不登校	20.0%
職場関係	13.3%

（ひきこもり実態調査から）

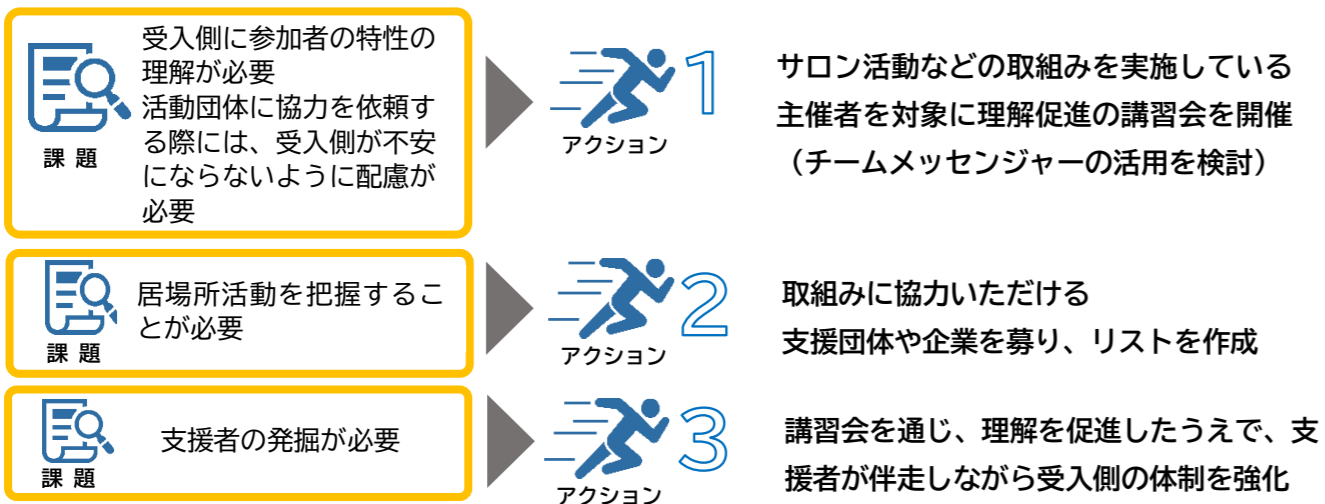
③ 新たな居場所の創出や参加できる仕組みが必要



2 プロジェクトの概要・流れ



3 今後の展開



総括（取組みを通して）

- 支援対象者一人一人に合わせたアプローチの方法が必要であるため、その人に合ったアプローチ方法の判断や対象者が継続的に居場所へ行きたい。と思ってもらえるような関わり方が難しい。
- 参加を支援する団体が不安にならないように、対象者の状況や人柄を伝えることに特に配慮が必要である。
- 居場所に行くことを定着させるためには、対象者の意欲を継続させる必要があるため、伴走的な支援は欠かせない。
- 対象者のニーズは様々であり、各々のニーズに合った居場所を発掘することで、より多くの方の社会参加のきっかけとなる。